

**稲発酵粗飼料
(WCS)用稲
にも使えます!**

「稲発酵粗飼料生産・給与技術
マニュアル」(2015年3月改正)
に追加記載されました。

**ホタルイにキク!
ノビエにキク!
広葉にキク!**



水稲用 初・中期 一発処理除草剤

農林水産省登録
第23123号

キクンビジャへZ フロアブル

ピラゾレート・プロピリスルフロン水和剤

キクンジャーは三井化学アグロ(株)の登録商標です



クログワイ



3葉期まで

ノビエ



ミズガヤツリ



オモダカ



コナギ



シズイ



ホタルイ



アゼナ



ウリカワ



コウキヤガラ



三井化学アグロ株式会社

キクンジャ〜Z フロアブル

■有効成分：ピラゾレート……27.3% プロピリスルフロロン……1.6%

クログワイなどの多年生雑草に強く、SU抵抗性雑草にも優れた効果があります！

ノビエ3葉期まで使えます！

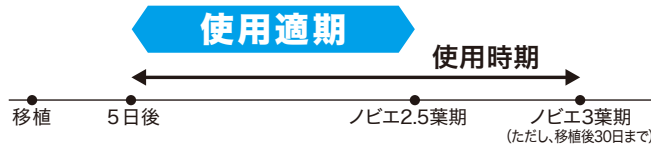
使用基準

2016年9月1日現在

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピラゾレートを含む農薬の総使用回数	プロピリスルフロロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ クログワイ オモダカ ヒルムシロ セリ シズイ コウキヤガラ	移植後5日～ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	500mℓ /10a	1回	原液湛水散布、 水口施用又は 無人ヘリコプターによる滴 下	2回以内	2回以内

上手な使い方

- SU抵抗性雑草(アゼナ、ホタルイ、コナギ等)の発生地域では登録の範囲内ですできるだけ早く使用してください。
- 雑草の発生消長にあわせ、適期に散布してください。



草種別使用時期

雑草名	使用時期
ノビエ	3葉期まで (ただし、畦畔から散布する場合は2.5葉期まで)
ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ	3葉期まで
クログワイ オモダカ	発生前～発生始期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前～再生始期まで
シズイ	草丈3cmまで
コウキヤガラ	発生始期まで

注意事項

- 使用前に容器をよく振ってください。
- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 所定の使用量を厳守してください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失ないように散布してください。ただし、畦畔から散布する場合にはノビエ2.5葉期までに散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワは3葉期まで、クログワイ、オモダカは発生前～発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～再生始期まで、シズイは草丈3cmまで、コウキヤガラは発生始期までが本剤の散布適期です。
- クログワイ、オモダカ、シズイ、コウキヤガラは、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせ使用してください。また、クログワイ、オモダカに有効な後処理剤と組み合わせることで連年施用することにより、さらに効果が向上します。
- 苗の植付けが均一となるように代かきをていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水状態のまま本剤を水田全面にゆきわたるように散布してください。
- 本剤処理後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないように注意してください。また散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。止水期間中の入水は静かに行ってください。
- 水口施用の場合は入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させてください。処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれないように注意してください。
- 本剤を無人ヘリコプターによる滴下に使用する場合は、次の注意を守ってください。
 - ①滴下は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - ②滴下に当たっては散布装置のノズルを使用しないでください。
 - ③作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行ってください。
 - ④隣接する圃場に水稲以外の作物が栽培されている場合は、無人ヘリコプターによる本剤の滴下は行わないでください。
 - ⑤水源地、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
 - ⑥薬液滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
 - ⑦本剤の滴下に使用した無人ヘリコプターの散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しないでください。
- 移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないよう適期に散布してください。
- 散布後に多量の雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。
- 補植は必ず散布前に行ってください。
- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ①砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
 - ②軟弱な苗を移植した水田
 - ③極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
 - ④稲の根が露出している水田
- 移植期が遅く、処理後著しい高温が続く場合には、稲にクロロシスを生ずる場合がありますが、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 本剤は、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- いぐさを栽培予定の水田では使用しないでください。
- 空容器等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。また、処理薬剤は残さず使い切ってください。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しないでください。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、水管理を適正に行ってください。
- 散布器、ホース、ノズル、タンク等の器具は、使用後速やかに十分に水洗し、洗浄液は水田内で処理してください。また、使用した機器等は水稲用薬剤以外に使用しないでください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするのと同時に衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温場所に密栓して保管してください。



○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ○容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ○防除日誌を記載しましょう。

*本製品は農業用除草剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
*本印刷物は2016年9月1日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

取扱い



三井化学アグロ株式会社
東京都中央区日本橋1-19-1 日本橋ダイヤビルディング
ホームページ <http://www.mitsui-agro.com/>